

平成 19 年 9 月 10 日  
日本銀行盛岡事務所

## 岩 手 県 金 融 経 済 概 況

### 1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、設備投資と住宅投資が前年を下回っているが、公共投資が前年を上回っている。この間、個人消費は横這い圏内で推移している。

こうした中、生産は増加基調を維持しているが、雇用情勢は横這いの動きとなっている。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、総じてみれば横這い圏内で推移している。

#### (大型小売店売上高)

百貨店の売上高をみると、7 月は前月のセール前倒しの反動もあって、前年をかなり下回る動きとなったが、8 月入り後は気温の上昇に伴い夏物衣料品や身回品が回復したため、前年比マイナス幅は縮小している。

スーパーの売上高についても、7 月は夏物商材の不振から、やや弱めの動きとなったが、8 月入り後は、ビール・清涼飲料等の食料品や夏物衣料品が回復し、販売が持ち直しの方向にある。

#### (家電量販店売上高)

家電販売は、薄型テレビやゲーム機、高機能の白物家電などが堅調に推移しているうえ、8 月入り後は、エアコン、扇風機の販売が増加している。

#### (乗用車新車登録台数)

乗用車新車登録台数（軽自動車を含む）は、小型車を中心に前年を下回って推移している。

## (2) 公共投資

公共工事請負金額は、大型工事の発注が続いており、引き続き前年を上回って推移している。

## (3) 住宅投資

新設住宅着工戸数は、持家、貸家の着工が低調なことから、全体でも弱めの動きとなっている。

## (4) 設備投資

2007年度の設備投資計画(6月短観調査結果)をみると、製造業は、前年度をやや下回る計画となっており、非製造業は、情報通信の大型投資一巡から、前年度を大きく下回る計画となっている。

## 3. 生産動向

生産は、増加基調を続けている。

### (電子部品類)

電子部品・デバイスでは、薄型テレビなどのデジタル家電や携帯電話向けを中心に高操業が続いている。

### (輸送機械)

完成車、自動車部品とも、海外の好調な需要を背景に高水準の生産が続けている。

### (一般機械)

自動車関連向け工作機械の生産が好調なほか、各種機械部品も幅広い分野から注文が入り高操業が続いている。

### (その他)

情報通信機械では、携帯電話用基地局の投資一巡から、関連装置の生産が減少している。鉄鋼の線材は、自動車向け需要に支えられ、高操業が続いている。食料品は、水産缶詰が素原材料価格の上昇から減産傾向にあるが、猛暑の影響から清涼飲料が増加しており、全体では横這いで推移している。

#### 4. 雇用・所得の動向

雇用情勢をみると、7月の有効求人倍率（季節調整値）は0.76倍、新規求人倍率（同上）は1.07倍と、いずれも前月と同水準であった。

この間、雇用者所得は、一人当たり名目賃金が前年水準を下回って推移していることから、前年割れの状態が続いている。

#### 5. 企業倒産

8月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数10件（前年同月比9.1%）、負債総額3,739百万円（同2.2倍）となった。

件数ベースでは、5月以来3か月振りの二桁台、負債額も今年2番目の高い金額になった。

#### 6. 金融面の動向

預金動向をみると、公金預金が前年を大きく下回っているものの、個人預金が堅調に推移していることから、全体では前年を上回っている。

一方、貸出動向をみると、個人向けは住宅ローンを中心に堅調に推移しているが、法人向けが総じて低調なうえ、地公体向けも一部に借入返済の動きがみられ、全体では前年を下回って推移している。この間、貸出金利は、横這いで推移している。

以 上

|  |
|--|
| 本件に関する問い合わせ先<br>日本銀行盛岡事務所<br>TEL : 019-624-3622 (代)<br><a href="http://www3.boj.or.jp/morioka/">http://www3.boj.or.jp/morioka/</a> |
|--|